

# なかこくだより



学校教育  
目標

未来に夢を抱き、希望に向かって力強く学ぶ児童の育成を目指し、  
やさしさ、かしこさ、たくましさを磨く

学校だより 第11号

令和4年3月15日

市川市立中国分小学校

校長 菊池 和彦

## 一年間ありがとうございました

昨年4月よりスタートした令和3年度も、残すところあとわずかとなりました。約2年前から続いている新型コロナウイルスにおいては未だ収束の見込みがたない状況です。保護者の皆様には、コロナ禍の状況で、毎日の健康観察や急なお迎えなど、様々な面でご協力いただきありがとうございました。



行事関係では、運動会や創立50周年記念式典など、規模を縮小してではありますが、実施することができました。学習参観や保護者会においては、感染拡大防止のため中止やリモートでの実施となりました。子どもたちの活躍の様子を見ていただく機会や直接お話する機会が減ってしまったことは残念に思います。次年度に向けて、今年度取り組んでみてよかった点は生かし、改善すべき点は知恵を出し合いながら、子どもたちのためによりよい方法を考えていきたいと思っております。保護者の皆様や地域の皆様にも、ご協力いただくことがあるかと思っておりますが、来年度もよろしく願いいたします。

## 二重とびリレー大会

2/28から3/10にかけて、業間休みを利用して二重とびリレー大会が行われました。計画では、もう少し早い時期に実施の予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し延期となっていました。実施方法を工夫し安全面に配慮しようやく実施にこぎつけました。子どもたちはずいぶん前から二重とびの練習をし、この大会に備えていました。本番では、チ



ームワークを大切に、仲間と協力して一生懸命とんでいる様子が見られました。また、3/11には、優勝チームvs先生チームのエキシビジョンマッチもありました。先生方も健闘しましたが、結果は優勝チームの勝ちでした。大いに盛り上がった大会となりました。

【結果は以下のとおりです。おめでとうございます！】

優勝 BuRLutBctfL(6年) 準優勝 YAMADA(5年) 第3位 最強(3年)

## 卒業を祝う会



3/3に卒業を祝う会が行われました。コロナ禍で、全員が体育館に集まったの会は実施できませんでしたが、1年生から5年生が、6年生に感謝の気持ちを込めての発表(歌やダンスなど)を事前に映像に収め、6年生が体育館に集まってその映像を見る形で実施しました。在校生の気持ちはしっかり6年生に伝わったことと思います。6年生から在校生へは、「栄光の架け橋」の歌のプレゼントがありました。本当に素晴らしい歌声でした。中学校へ行っても、中国分小学校で学んだことを忘れずに頑張してほしいと思います。

## 3. 11「市川市防災教育の日」

今から11年前の、2011年3月11日午後2時46分に東日本大震災が起こりました。市川市では、3月11日を「市川市防災教育の日」としています。本校でも、リモートで防災朝会を行いました。市川市教育委員会教育長からのメッセージの後、黙とうを行い、校長と安全主任から話をしました。災害はいつ起こるかわかりません。また、首都直下地震が30年以内に70%以上の確率で発生するといわれています。この防災の日をきっかけに、ご家庭でも今一度災害に備えて何ができるか、何をしたらよいか話題にしてほしいと思います。



## 通学路関係の進捗状況

8月に教育委員会、市川市の担当者とともに通学路の危険個所の点検を行いました。本校からは以下の7か所について要望を挙げています。

①赤コースつくし公園前5差路 ②緑コース住友金属角横断歩道の安全 ③ヤオコー側門右方向の通行の安全 ④黄色コースアンデルセン幼稚園裏信号機のない横断歩道 ⑤黄色コース北国分へ向かう坂道の安全対策 ⑥黄色コース北国分へ向かう坂道手前の横断の安全 ⑦外環へつながる新設道路を通学路に適用するための改善 です。対応としては、白線の明確化、「走行注意」等の看板の設置などの回答でした。また、以前から要望している、信号機の設置や黄色コースの通学路変更にかかわる道路状況については見通しがたっていない状況です。アンデルセン幼稚園裏の道路のへこみの整備依頼、道路標識の塗りなおしの件は要望として挙げていきたいと思います。今後も子どもたちの安全確保のために、関係課と連携を図りながら進めてまいります。